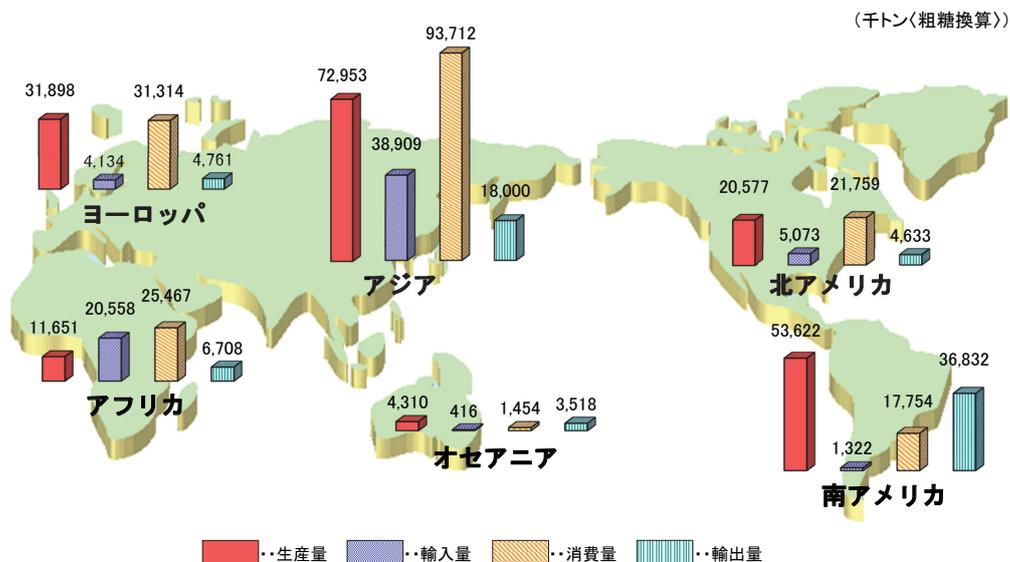


砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星

1 世界の砂糖需給（2024年12月時点予測）

図 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2024/25年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, December 2024」
 注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン(粗糖換算)、%)

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1994/95	47,925	116,773	31,660	112,814	32,499	51,044	45.2
1999/00	67,740	133,221	36,622	127,777	39,758	70,049	54.8
2004/05	70,829	144,294	47,173	146,617	50,894	64,785	44.2
2009/10	63,959	159,897	55,868	164,424	55,991	59,309	36.1
2014/15	75,474	183,661	60,890	177,018	62,427	80,582	45.5
2019/20	90,049	181,856	69,502	182,737	71,625	87,045	47.6
2020/21	87,045	181,996	66,802	185,213	68,005	82,626	44.6
2021/22	82,626	186,271	69,260	188,721	71,065	78,371	41.5
2022/23	78,371	190,577	70,802	190,828	71,328	77,593	40.7
2023/24	77,593	195,665	75,862	192,519	76,482	80,120	41.6
2024/25 (2024年12月予測)	80,120	195,011	70,413	191,461	74,452	79,631	41.6

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, December 2024」
 注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。
 注3：期末在庫量は（期首在庫量+生産量+輸入量-消費量-輸出量）。
 注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2025年4月号の掲載となります。直近の内容は2025年1月号をご参照ください。

「世界の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003253.html

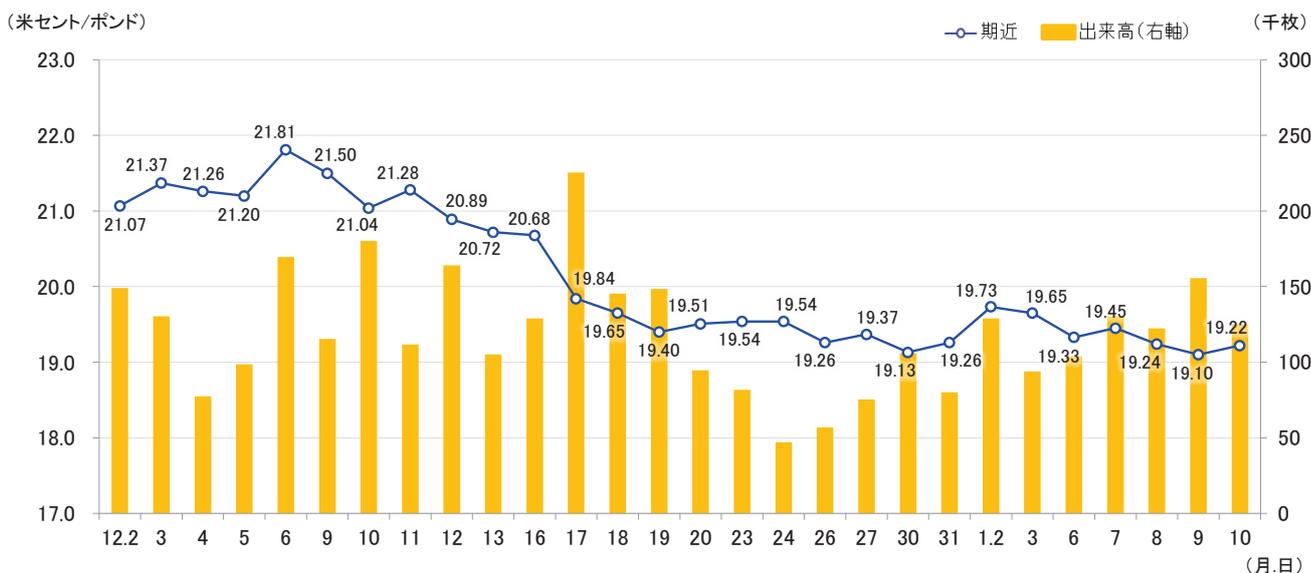
「主要国の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003254.html

2 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（12/2～1/10）

～12月はブラジル産砂糖の増産により、19セント台まで下落～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近3月限の値。

2024年12月のニューヨーク粗糖先物相場（3月^{がつ}限）の推移を見ると、2日はリアル安^{ぎり}（注1）により1ポンド当たり21.07セント^{（注2）}と前取引日に続き弱含んだが、3日は原油高^{（注3）}により上昇した。4日以降は世界的な供給回復の見通しから緩やかに下落したものの、6日はブラジル中南部地域の降水量の減少予測により、同21.81セントと上昇した。11日は原油高で一時的に上昇したものの、ブラジル産砂糖の供給量増加により下落基調となり、17日には23年9月以来の19セント台に突入し、同19.84セントとした。19日にはインドで余剰分の砂糖輸出を許可する可能性が示唆されたことで下落し、同19.40セントをつけた。20日以降は若干の回復を見せるものの、26日には市場での砂糖供給の楽観的な見通しから、同19.26セントと下落した。27日はブラジルサトウキビ産業協会（UNICA）が中南部地域での砂糖減産を発表したことを受けて小幅な

上昇となったが、30日は世界的な供給回復の見通しから下落し、31日は原油高を受けて同19.26セントと再び上昇した。

1月に切り替わると、2日はインド砂糖・バイオエネルギー製造業者協会（ISMA）が10月から12月までの砂糖生産量が前年同期と比較して減少したことを発表し、同19.73セントと上昇したが、3日以降は供給懸念の緩和とドル高で下落基調となり、10日には同19.22セントをつけた。

（注1）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してリアルが下落すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が高まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が高まると、需給の緩和につながることから、価格を押し下げる方向に作用する。

（注2）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注3）一般に、原油価格が上昇すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も増加する。バイ

オエタノールの需要増加により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが増える一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が

減ると想定される。食品用途仕向けの度合いが小さくなるほど需給がひっ迫し、当該食品の価格を押し上げる方向に作用する。

3 世界の砂糖需給に影響を与える諸国の動向（2025年1月時点予測）

ブラジル

2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：887万ha（前年度比5.5%増）
生産量：6億7956万トン（同4.7%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：4696万トン（同4.8%減）
輸出量：3659万トン（同2.9%減）

2024/25年度のサトウキビ生産量はやや減少する見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、887万ヘクタール（前年度比5.5%増）とやや増加が見込まれている（表）。一方、サトウキビ生産量は、主産地である中南部地域の干ばつや火災の影響を受け、6億7956万トン（同4.7%減）とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、干ばつや火災によるサトウキビの減産を背景に、4696万トン（同4.8%減）とやや減少が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産砂糖の輸出量減少が見込まれる中、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖の堅調な需要が期待されるものの、減産を背景に3659万トン（同2.9%減）とわずかな減少が見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

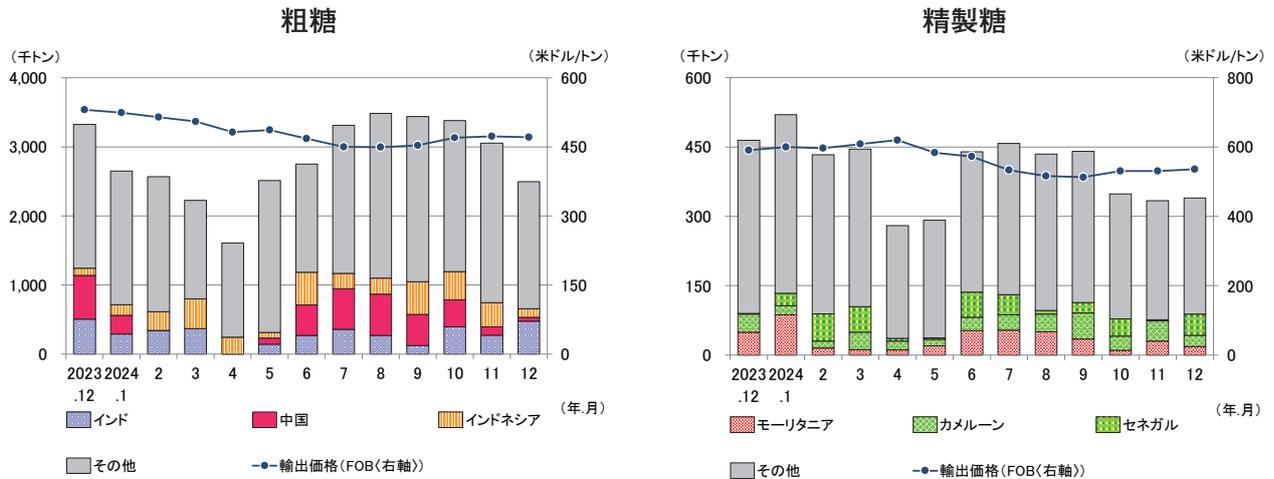
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (12月予測)	2024/25 (1月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	8,672	8,421	8,408	8,760	8,870	5.5%	
サトウキビ生産量	576,707	606,676	713,134	669,400	679,562	▲ 4.7%	
砂糖	生産量	37,600	39,700	49,320	46,270	46,960	▲ 4.8%
	輸入量	5	2	5	4	4	▲ 29.8%
	消費量	10,949	10,928	10,965	10,800	10,800	▲ 1.5%
	輸出量	27,093	28,985	37,678	35,898	36,586	▲ 2.9%
	期末在庫量	2,156	1,945	2,627	3,960	2,204	▲ 16.1%
	期末在庫率	5.7	4.9	5.4	8.5	4.7	0.7ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, January 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移



資料: 「Global Trade Atlas」

注1: HSコード1701.14 (粗糖) および1701.99 (精製糖) の数値。

注2: 輸出量は、直近13カ月 (累計) の上位3カ国・地域を表示。

インド

2024/25年度 (10月～翌9月) の見通し

【サトウキビ】

収穫面積: 517万ha (前年度比6.8%減)

生産量: 4億1287万トン (同7.2%減)

【砂糖 (甘しゅ糖)】

生産量: 3023万トン (同12.8%減)

輸出量: 296万トン (同32.4%減)

2024/25年度の砂糖輸出量は大幅に減少する見込み

2024/25年度 (10月～翌9月) のサトウキビ収穫面積は、517万ヘクタール (前年度比6.8%減) とかなりの程度減少が見込まれている (表)。サトウキビ生産量は、干ばつと一部地域で発生した赤腐病 (red rot) (注1) の影響により、4億1287万トン (同7.2%減) とかなりの程度減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの収穫量減少とエタノールへの転用が進んだことから、3023万トン (同12.8%減) とかなり大きく減少が見込まれている。

砂糖輸出量は、輸出制限の継続や砂糖の減産により、296万トン (同32.4%減) と大幅な減少が見込まれている。なお、政府は1月に国内の余剰在庫の解消などを目的に100万トンの砂糖輸出を許可した(注2)。

(注1) 真菌の感染によって引き起こされる病気であり、茎の内部が腐り、赤色に変色する。サトウキビの単収や砂糖の回収率に深刻な影響を及ぼすとされている。

(注2) 詳細については、2025年1月24日付け海外情報「インド政府が100万トンの砂糖輸出を許可 (インド)」 <https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho01_004013.html> をご参照ください。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (12月予測)	2024/25 (1月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	5,222	5,441	5,549	5,172	5,172	▲ 6.8%
サトウキビ生産量	481,599	455,898	444,740	422,493	412,870	▲ 7.2%
砂糖	生産量	38,559	35,389	34,677	31,431	▲ 12.8%
	輸入量	427	1,687	3,131	2,569	▲ 22.6%
	消費量	29,516	30,078	31,050	31,644	0.9%
	輸出量	12,468	8,646	4,378	3,339	▲ 32.4%
	期末在庫量	6,472	4,824	7,203	6,342	▲ 22.5%
	期末在庫率	15.4	12.5	20.3	18.1	16.3

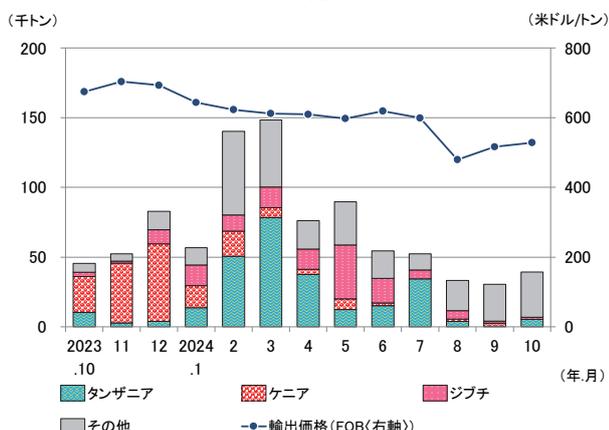
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, January 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移

粗糖

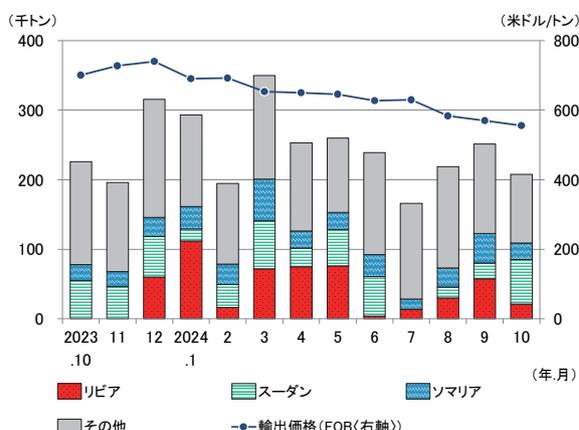


資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。

精製糖



E U

2024/25年度(10月～翌9月)の見通し

【てん菜】

収穫面積：157万ha(前年度比8.3%増)

生産量：1億1623万トン(同5.8%増)

【砂糖(てん菜糖)】

生産量：1738万トン(同6.0%増)

輸出量：239万トン(同9.4%増)

2024/25年度のてん菜生産量はやや増加の見込み

2024/25年度(10月～翌9月)のてん菜収穫面積は、生産量上位国であるフランス、ドイツ、ポーランドを中心に各国で増加が見込まれることから、157万ヘクタール(前年度比8.3%増)とかなりの程度増加が見込まれている(表)。てん菜生産量は、

作付面積の増加により、1億1623万トン(同5.8%増)とやや増加が見込まれている。

砂糖生産量は、てん菜の糖分の低さが一部の地域で懸念されているものの、てん菜の増産と主産地での単収増加を背景に1738万トン(同6.0%増)とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の増産を背景に239万トン(同9.4%増)とかなりの程度増加が見込まれている。

表 EUの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

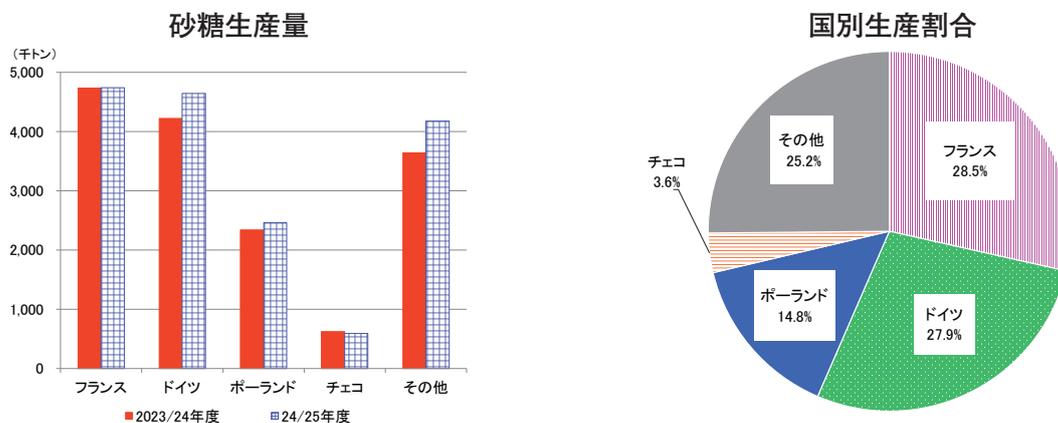
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (12月予測)	2024/25 (1月予測)	前年度比 (増減率)	
てん菜収穫面積	1,454	1,398	1,447	1,568	1,567	8.3%	
てん菜生産量	111,391	99,760	109,898	113,745	116,231	5.8%	
砂糖	生産量	17,397	15,480	16,391	17,456	17,381	6.0%
	輸入量	2,144	3,267	2,180	1,296	1,198	▲ 45.0%
	消費量	17,969	17,237	16,333	16,969	16,834	3.1%
	輸出量	1,251	914	2,188	2,027	2,394	9.4%
	期末在庫量	1,327	2,244	2,295	2,600	1,646	▲ 28.3%
	期末在庫率	6.9	12.4	12.4	13.7	8.6	3.8ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, January 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し (2024/25年度) (2025年1月時点)



資料：欧州委員会

注1：精製糖換算

注2：2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度は予測値。

資料：欧州委員会

4 日本の主要輸入先の動向 (2025年1月時点予測)

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しや糖・その他<同1701.14-200>の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2023年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が91.6%（前年比0.8ポイント増）、タイが8.4%（同0.9ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪州

2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比1.1%増）

生産量：2999万トン（同0.8%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：397万トン（同3.8%減）

輸出量：298万トン（同11.3%減）

2024/25年度の砂糖輸出量はかなり大きく減少する見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比1.1%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、頻発した豪雨と豪州最大の精糖企業で発生したストライキにより収穫が遅れているものの、生育は順調に進んだことから、2999万トン（同

0.8%増）とわずかな増加が見込まれている。

砂糖生産量は、収穫遅れがサトウキビの糖度低下を招く可能性があることなどから、397万トン（同3.8%減）とやや減少が見込まれている。砂糖輸出量は、アジア地域向けを中心に引き続き一定の需要があるものの、砂糖の減産見込みにより、298万トン（同11.3%減）とかなり大きく減少が見込まれている。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (12月予測)	2024/25 (1月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	343	328	341	345	345	1.1%
サトウキビ生産量	30,123	32,593	29,757	29,993	29,993	0.8%
砂糖	生産量	4,108	4,298	4,128	4,053	▲ 3.8%
	輸入量	9	8	10	9	▲ 8.0%
	消費量	1,010	996	995	1,005	1.0%
	輸出量	3,453	2,942	3,356	3,057	▲ 11.3%
	期末在庫量	813	1,181	967	967	0.0%
	期末在庫率	18.2	30.0	22.2	23.8	24.3

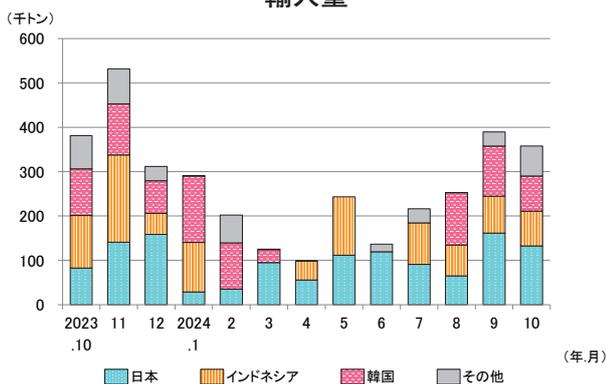
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, January 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

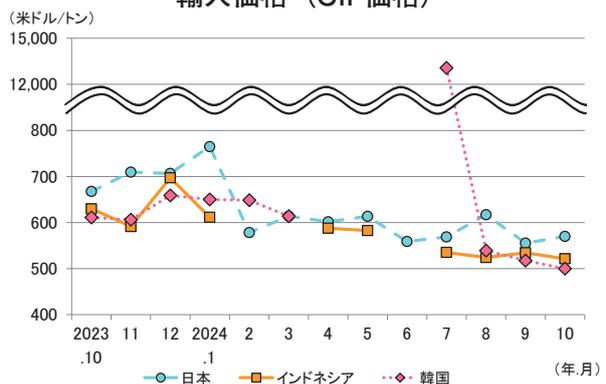
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移

輸入量



輸入価格 (CIF価格)



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, January 2025」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。

注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：インドネシアの2024年2月、3月、6月の輸入量は実績なし。

注5：韓国の2024年4月、5月、6月の輸入量は実績なし。24年7月の輸入量は、千トン未満。

タイ

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：167万ha（前年度比10.0%増）
生産量：9800万トン（同19.3%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：1168万トン（同25.4%増）
輸出量：876万トン（同48.8%増）

2024/25年度の砂糖生産量および輸出量は大幅に増加する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、167万ヘクタール（前年度比10.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫面積の増加と良好な気象条件のもと、9800万トン（同19.3%増）と大幅な増加が見込まれている。

砂糖生産量は、23/24年度のサトウキビの減産

とCCS（注）の低さによる減産の反動から、1168万トン（同25.4%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産やブラジル産の輸出量減少が見込まれる中、砂糖の増産を背景に876万トン（同48.8%増）と大幅な増加が見込まれている。

（注）可製糖率：サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 タイの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

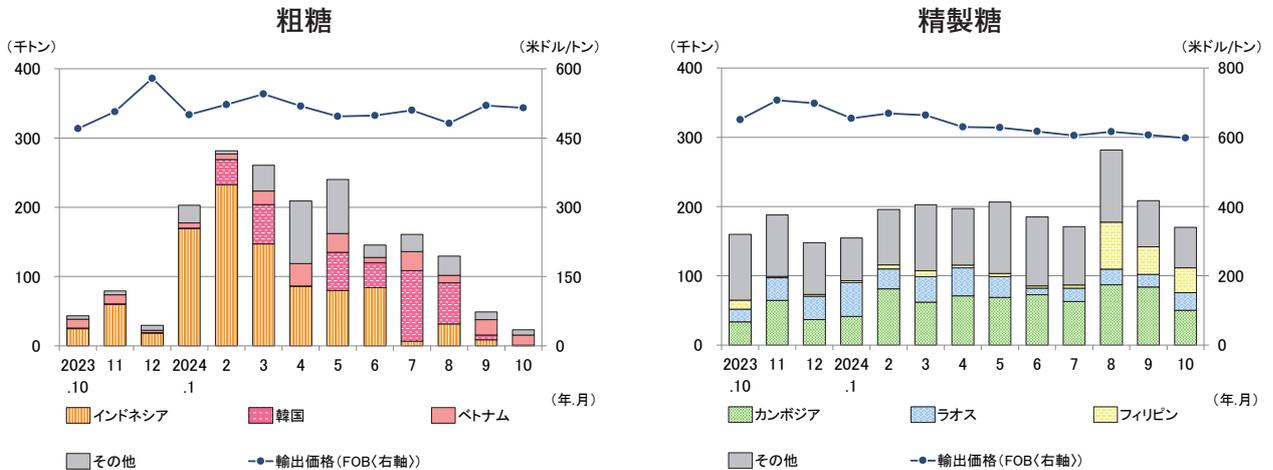
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (12月予測)	2024/25 (1月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,525	1,514	1,518	1,670	1,670	10.0%
サトウキビ生産量	91,145	93,888	82,167	98,000	98,000	19.3%
砂糖	生産量	10,643	11,682	9,316	11,691	25.4%
	輸入量	148	317	250	300	20.2%
	消費量	3,424	3,348	3,186	3,219	1.0%
	輸出量	7,867	8,002	5,888	8,772	48.8%
	期末在庫量	1,951	2,599	3,091	3,069	▲0.0%
	期末在庫率	17.3	22.9	34.1	25.6	25.8

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, January 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。